

# 家畜市場通信 No.7

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。  
 ■ 健康と生活を重し、元気な畜産づくりに取り組みます。  
 ■ 安全で新鮮な肉類・畜産物を消費者にお届けします。  
 ■ 地域の畜産保全に積極的に取り組みます。

発行責任者：常陸大宮市鷹巣 全農茨城県本部家畜市場所長

発行日：平成30年6月29日

## 1. ニュースレポート

去る6月26日(火)、茨城県肉用牛生産者協会主催の講演会が開催されました。

まず最初に、秋山動物病院の秋山和夫先生より、「ビタミンAコントロールを考える」約10万頭の血液プロフィールから。の題材にて講演を頂きました。ビタミンAの役割、要求量及び健常値、ビタミンAの抑制方法等の説明。また、牛の耳道炎については、耳標装着時以後に発生が多く見られる等の症例報告を頂きました。

続いて、十勝動物健康リサーチの高橋良平先生からは、「牛白血病を考える」特に黒毛和種牛の清浄化対策についての講演を頂きました。牛白血病の分類では、地方病性(成牛型)白血病、牛白血病ウイルス(BLV)が関与する伝染病は、1996年(99頭)から2017年(3454頭)20年間で約35倍に増加しているとの事。また、参考事例として北海道帯広食肉衛生所調では、屠畜場での白血病検出状況として、平成24年度~27年度:40頭~70頭であったが、平成28年度:100頭に急増した。しかしながら、畜産現場においては牛白血病清浄化対策に前向き?ではない等の実情もあること。最後に、牛白血病は感染経路がはっきりしており、清浄化は可能な疾病であるとの言葉を頂き、終了いたしました。

※県内の肥育農家、繁殖農家、関係団体合わせて約120名の参加のもと開催されました。

## 高額販売牛の血統と成績

## 6月市場

開催日:平成30年6月14日

(去勢牛)

番付	JA名 ET区分	価格 千円	父 母の父 母の祖父	生年月日 日齢 体重	キロ単価 日単価 日増体重
横綱	常陸 大子 通常	921	幸紀雄 安福久 芳之国	29.9.6 281 356	2,587 3,278 1.27
大関	北つくば 下館 通常	902	北国関7 安福久 金幸	29.9.1 286 321	2,810 3,154 1.12
関脇	常陸 大宮 ET	857	勝早桜5 安福久 平茂晴	29.8.22 296 341	2,513 2,895 1.15
小結	稲敷 潮来 通常	852	花美千 百合茂 安福久	29.8.13 305 393	2,168 2,810 1.29
前頭1	稲敷 江戸崎 ET	842	幸紀雄 安福久 平茂勝	29.8.19 299 303	2,779 2,816 1.01

(雌牛)

番付	JA名 ET区分	価格 千円	父 母の父 母の祖父	生年月日 日齢 体重	キロ単価 日単価 日増体重
横綱	稲敷 江戸崎 ET	943	安福久 平茂勝 糸福	29.8.26 292 295	3,197 3,229 1.01
大関	稲敷 江戸崎 ET	893	安福久 勝忠平 安平	29.8.18 300 293	3,048 2,977 0.98
関脇	常陸 大子 通常	778	金太郎3 安福久 忠富士	29.9.13 274 321	2,424 2,839 1.17
小結	常陸 水府 通常	777	茂光洋 百合茂 安福久	29.9.20 267 342	2,272 2,910 1.28
前頭1	常陸 大子 通常	764	金太郎3 安福久 勝忠平	29.9.21 266 309	2,472 2,872 1.16

- この成績は、全農茨城県本部家畜市場で販売された成績です。
- 成績は、販売価格順です。同額の場合は、日齢の若い牛、日単価の高い牛を上位としています。
- 日増体重=(体重÷日齢)
- 価格は税抜き。

### 3. 市場インフォメーション

#### テーマ：夏バテとビタミンA

JA 東日本くみあい飼料（株）

日々、安定的な飼料摂取量の確保のために各農場様でご苦労されておりますが、これから本格的な夏を迎えるにあたり、暑熱ストレスとビタミンAの関係についてご紹介いたします。

肉牛が暑熱ストレスを受ける温度・湿度領域

気温(°C)	湿度(%)				
	20	40	60	80	100
19	62.5	63.4	64.2	65.1	66.0
20	63.6	64.7	65.8	66.9	68.0
21	64.7	66.0	67.4	68.7	70.0
22	65.8	67.4	68.9	70.5	72.0
23	67.0	68.7	70.5	72.2	74.0
24	68.1	70.1	72.0	74.0	76.0
25	69.2	71.4	73.6	75.8	78.0
26	70.3	72.7	75.2	77.6	80.0

気温と湿度の相関関係

数字は不快指数を示す。69以上で暑熱ストレスを受ける。

暑熱ストレス

(ベトリッツら, 1974)

暑熱によるストレスなどで血中ビタミンAが消費され、ビタミンA濃度が低下し、飼料摂取量が減少する。その後、陽気が良くなり、飼料の食い込みが回復することにより増体がよくなり、ビタミンAの消耗も進んでくる。結果的に欠乏症が頻発することとなる。これを放置するとしこりや筋肉水腫（ズル）が発生する可能性が高くなる。夏季に血中ビタミンAレベルが最低になるような月齢の牛群は特段の注意が必要である。

＝対策＝

- ① ビタミンAの補給      ② 強肝剤による肝機能強化

22ヶ月齢を超えた肉牛に対しては、1日1頭あたり5,000単位のビタミンAを摂取しても、肉質に影響がないことが知られている。鹿児島県畜産試験場の報告によると、血中ビタミンA濃度が30IU以下に低下した肥育牛に対して、ビタミンA要求率25%（10.6IU/体重kg）を1週間給与した場合、1週間後51IUに上昇し、3週間後36IUに再度低下し、50%（21.2IU）の投与時では、1週間後69IUと上昇し、3週間後33IUに減少した。中期以降40～60IUを維持するためには、体重1kg当たり10.6IUを2週間間隔で給与することが望ましいとある。

引用文献：JA 全農畜産生産部 澤明著 「肥育牛の快適環境づくりのために」

引用・一部改編し掲載しております。